

# 聞き手の人生を反映する文芸

何を聞くか。そして返ってきた答えに対して、次はどういう質問を続けて聞くのか。それによって相手の答えも変わっていきます。だから『聞き書き』でまとめた文章は、一見、話し手の人生の様に見えるかもしれませんが、実は聞き手の人生も反映している文芸形式なのです。

〔塩野米松「第一回森の聞き書き甲子園事前研修 講義」より〕



仙北市市制 10 周年記念事業

大阪の櫓権職人 山本安平氏（左）と  
塩野米松氏（右）  
撮影 齋藤亮一氏

# 塩野米松 聞き書きに学ぶ展

取材手帳や  
箕・竹細工等  
実際の手仕事  
の道具も展示

会期 平成 27 年 6 月 20 日〔土〕～8 月 23 日〔日〕

開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）  
月曜休館・ただし 7 月 20 日は開館

観覧料 大人（高校生以上）300 円 小中学生 150 円 団体割引あり

会場 新潮社記念文学館

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁 2 3

電話 0187(43)3333

主催 仙北市教育委員会

協力 塩野米松氏 齋藤亮一氏

塩野米松 しおの よねまつ

1947 年秋田県角館町（現仙北市）生まれ。作家。  
聞き書きの名手で、失われゆく伝統文化・技術の記録に  
精力的に取り組んでいる。

○聞き書きの著作

『初代竹内洋岳に聞く』『登頂 竹内洋岳』『百年の梅仕事』  
『桜のいのち庭のこころ』『手業に学べ 心/技』『聞き書き  
につぼんの漁師』（筑摩書房）、『昭和という時代を生きて』  
（岩波書店）、『不揃いの木を組む』（文藝春秋）、『木のい  
のち木のこころ 〈天・地・人〉』（新潮社）、『屋久島の山守  
千年の仕事』（草思社）、『魂の酒』（ポプラ社）など多数。

塩野米松先生による聞き書き講座 7/19(日)午前 10 時～12 時 会場 仙北市総合情報センター 学習室

○定員 30 人（先着順）○参加無料（事前申込みが必要です）○申込先 学習資料館（月曜休館）○電話 0187(43)3333

## 「塩野米松 聞き書きに学ぶ」展

仙北市角館町出身の作家塩野米松氏は、全国各地の職人から聞き書きを行い、伝統文化や技術の記録を精力的に行っています。また、10年にわたり地元角館中学校の3年生に対し、聞き書きの指導をしてきました。その指導の下、生徒たちは角館に住む職人らを対象にした聞き書きを実際に行い、その内容は10冊の文集『ふるさとに生きる人々』(平成 16～25年度)にまとめられています。

この企画展では、塩野氏の聞き書き作品、取材道具や取材手帳、著作に登場する箕や竹細工といった手仕事の道具、取材写真など多様な「聞き書き」に関する資料を紹介致します。

### 展示資料

- 塩野米松氏による聞き書きの著作
  - 取材写真パネル(撮影 齋藤亮一氏)
  - 角館中学校 聞き書き授業関連資料
  - 取材手帳
  - カメラ
  - 録音テープ
  - 『手業に学べ 月の巻/技』(小学館/筑摩書房)より
  - ガマ背子(岡山県上斎原村 渡邊さん作)
  - カルイ、メシカゴ(宮崎県日之影町 廣島さん作)
  - 『手業に学べ 天の巻/技』(小学館/筑摩書房)より
  - 箕(鹿児島県金峰町 時吉さん作)
  - 『中国の手業師』(新潮社)より
  - 烏籠(中国 馬福清さん作)
  - 『イギリス職人ばなし』(晶文社)より
  - 鞆(ふいご)(イギリス ジョン・ジョーンズさん作)
- ほか

### ▼膨大な取材手帳・録音テープを初公開！



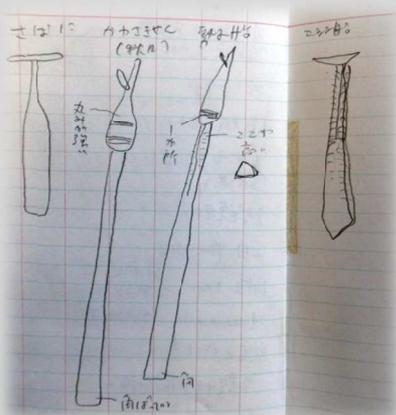
▲取材手帳 (一部)



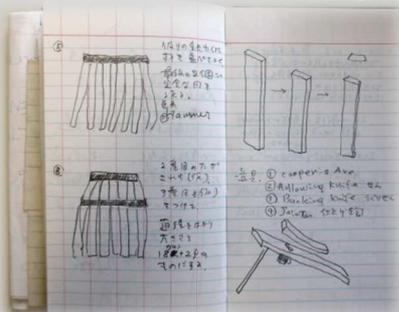
▲録音テープ (一部)



▲主に 120 分のテープを使用



▲▼取材手帳から



## 相手の人生が 職業を通じて浮かび上がる

### —塩野米松

石垣を組む職人さんに石の組み方という「技術」について話を聞いて文章にまとめても、実はなかなか伝わらないものです。もし「技術」だけを記録するのであれば、文章よりも映像(ビデオなど)を使った方がいい。しかし一方で、彼の「生き方」は「技術」の話を通じることを通じてでないとなかなか見えてきません。これはどういうことかということ、たとえば、船大工は僕たちから見ればひとつの職業だけれども、彼と彼の家族から見れば「船大工という生き方」なんです。だから船をつくる作業工程を聞く中でその人の職業を知り、その人の「船大工という生き方」を浮かび上がらせていくというのが、実は『聞き書き』の最大の仕事なのです。文字をもって、「その人の職業を通じ人生を浮かび上がらせる」という作業を文芸と言います。ここまで『聞き書き』ができればその作品は文芸と言えます。

(塩野米松「第一回森の聞き書き甲子園事前研修 講義」より一部抜粋)

### (案内図)

